

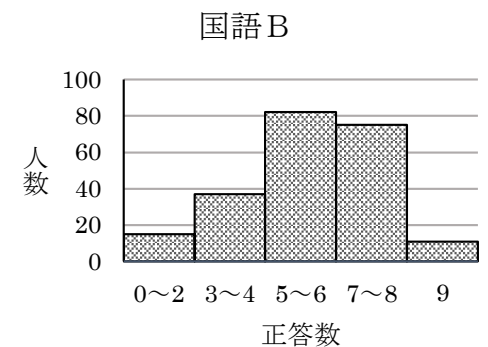
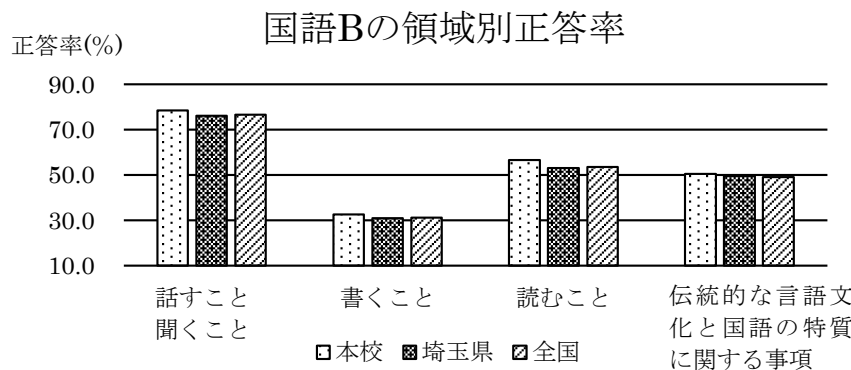
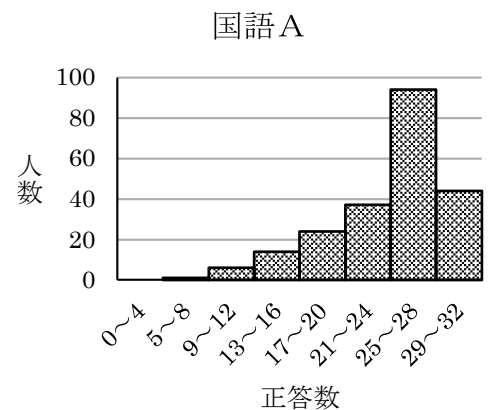
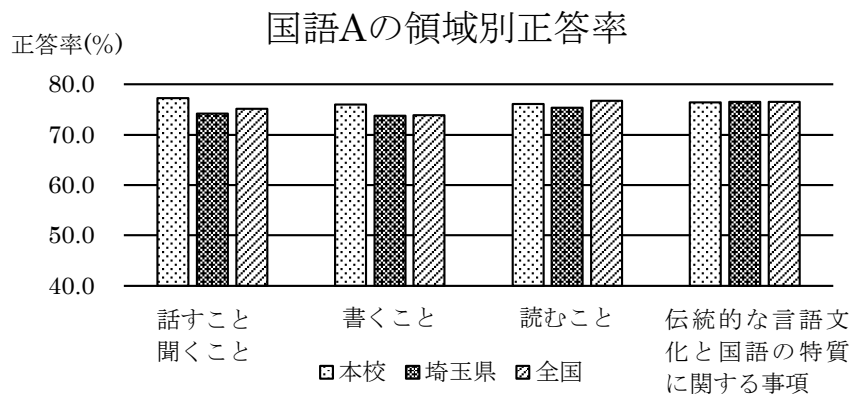
この学力調査は、平成30年度の中学校3年生を対象に実施したものです。したがって、学校全体の傾向を示すものではありません。

また、本分析・考察は全国（公立）及び県（公立）平均との比較をベースにしたものであり、一定の基準をもとにした優劣や、昨年度と比べた経年変化を表すものではありません。

グラフは、成果や課題を示す領域や相関関係があるものについて掲載しました。

学力調査の結果と考察

国語は「書くこと」に課題



国語で正答率が全国平均を5ポイント以上上回った問題

設問の概要	出題の趣旨	本校	全国
場面に当てはまる語句の意味として適切なものを選択する(ハナイカダ)	語句の辞書的な意味を踏まえて文脈上の意味を捉える	92.3	87.3
複数の辞書を引用して「天地無用」の意味を示す効果として適切なものを選択する	文章の構成や展開について自分の考えをもつ	69.5	64.3
文章中の表現について語った人物として適切なものを選択する	登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てる	73.2	68.2

国語で正答率が50%以下の問題

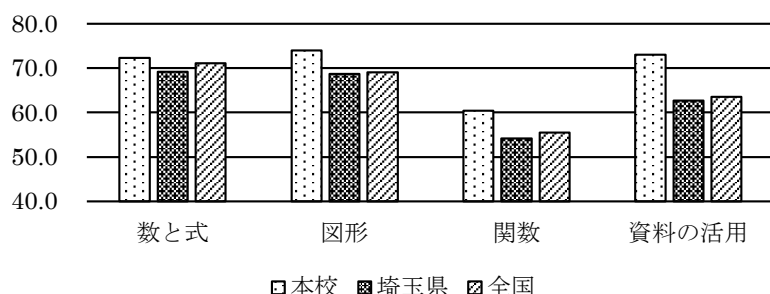
設問の概要	出題の趣旨	本校	全国
適切な語句を選択する(彼はせきを切ったように話し始めた)	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う	28.6	29.2
「心を打たれた。」を文末に用いた一文を、主語を明らかにし、「誰(何)」の「どのようなこと」に「心を打たれた」のかが分かるように書く	目的に応じて文の成分の順序や照応、構成を考えて適切な文を書く	24.5	22.3
作品への助言として適切なものを選択する	行書の基礎的な書き方を理解して書く	48.2	54.4
グラフから分かることについて文章中で説明しているものとして適切なものを選択する	文章とグラフとの関係を考えながら内容を捉える	48.2	45.9
「天地無用」という言葉を誤った意味で解釈してしまう人がいる理由を書く	目的に応じて文章を読み、内容を整理して書く	15.0	13.3

今後の学習指導に当たって

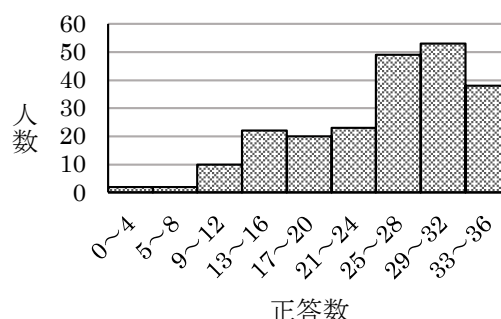
場面に即した語句を選択し、活用することができるようにする必要があります。そのために、気になった語句をノートに書き留め、その語句を使った単文を作ることや、会話や文章の中で積極的に使う指導を行います。また、文学的な文章の学習では、登場人物の人物像などを四字熟語や慣用句を使って表す指導を行います。さらに、文を書く際には、文の成分の順序や主語と述語の照応などを整え、伝えたいことが相手に適切に伝わるように書くことができているかを常に吟味しながら指導していきます。

数学は「関数」を中心とした2つの数量関係の理解に課題

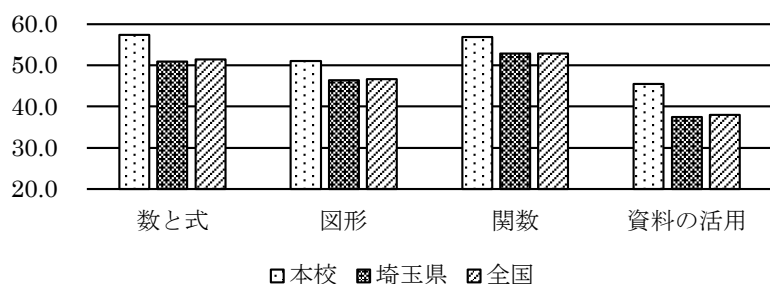
正答率(%) 数学Aの領域別正答率



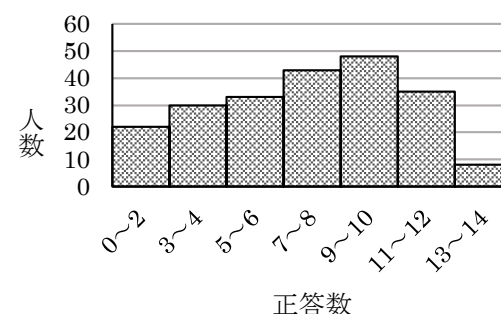
数学A



正答率(%) 数学Bの領域別正答率



数学B



数学で正答率が全国平均を10ポイント以上上回った問題

設問の概要	出題の趣旨	本校	全国
連立二元一次方程式をつくるために着目する数量を選び、式で表す	着目する必要がある数量を見だし、その数量に着目し、連立二元一次方程式をつくることができる	86.8	75.2
半円の直径を軸として回転させてできる立体の名称を書く	半円を、その直径を軸として回転させると、球が構成されることを理解している	93.2	82.4
1枚の硬貨を多数回投げたときの表が出る相対度数の変化の様子について、正しい記述を選ぶ	多数回の試行の結果から得られる確率の意味を理解している	54.3	40.2
全校生徒300人に対する上位4曲を回答した生徒数の割合を求める	与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することができる	69.4	55.7
放送計画で、1日目がA、2日目がBになる確率を求める	与えられた情報を分類整理し、不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉えることができる	58.4	43.9

数学で正答率が40%以下の問題

設問の概要	出題の趣旨	本校	全国
「1個 a kg の荷物3個と1個 b kg の荷物4個の全体の重さは15 kg 以上である」という数量の関係を表した不等式を書く	数量の大小関係を不等式に表すことができる	34.7	41.5
等式 $S = \frac{1}{2}ah$ を、a について解く	具体的な場面で関係を表す式を、等式の性質を用いて、目的に応じて変形することができる	39.7	48.2
歩いた道のりと、残りの道のりの関係について、正しい記述を選ぶ	一次関数の意味を理解している	32.0	36.4
A 駅からの道のりが6 km の地点において、列車Aが通ってから列車Eが通るまでの時間をグラフから求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる	14.6	13.2
S 社の団体料金が通常料金の何%引きになっているかを求める式を書く	与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することができる	9.6	16.0
通常料金を a としたときの団体料金の10人分が通常料金の何人分にあたるかを求める計算からわかることを選び、その理由を説明する	里奈さんの計算を解釈し、数学的な表現を用いて説明することができる	16.4	10.4

今後の学習指導に当たって

数量の大小関係を不等式に表す際に、数量の関係を整理し、比べようとする数量に着目して、正しく不等号が使えるように指導します。また、等式の性質などを用いて目的に応じて正しく変形できるように指導します。

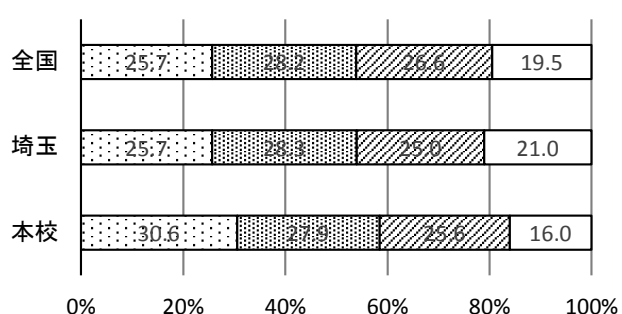
関数の指導では、具体的な事象における2つの数量の関係について、それらの変化や対応の様子を調べることを通して、2つの数量の関係が一次関数であるかどうかを判断できるように指導します。また、問題を解決する方法を、数学的な表現を用いて説明できるように指導していきます。

さらに、実生活の場面で、事象を目的に応じて数量化して判断する場面を設定し、的確に処理できるようにするとともに、数学的な表現を用いて簡潔にわかりやすく説明できるように指導します。

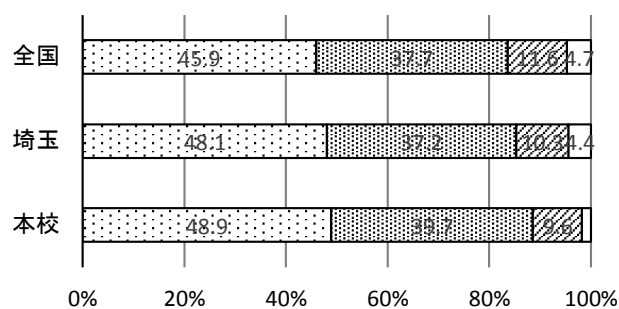
数学に関する状況（生徒の興味・関心、授業の理解度等）

☐ …あてはまる
 ☐ …どちらかといえば当てはまる
 ☐ …どちらかといえば当てはまらない
 ☐ …当てはまらない

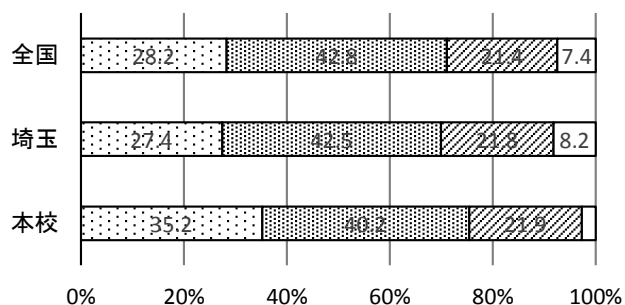
数学の勉強は好きですか



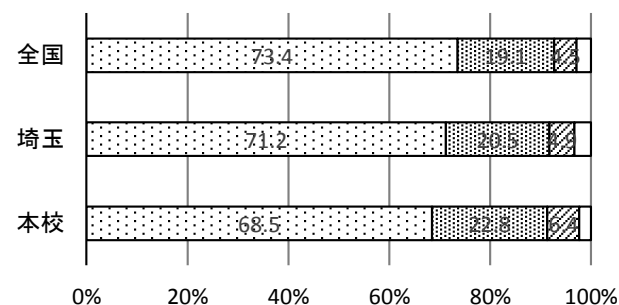
数学の勉強は大切だと思いますか



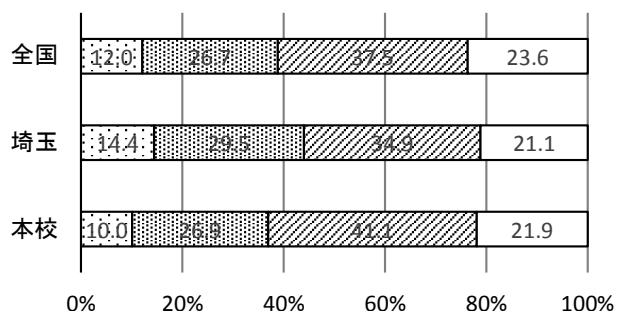
数学の授業の内容はよく分かりますか



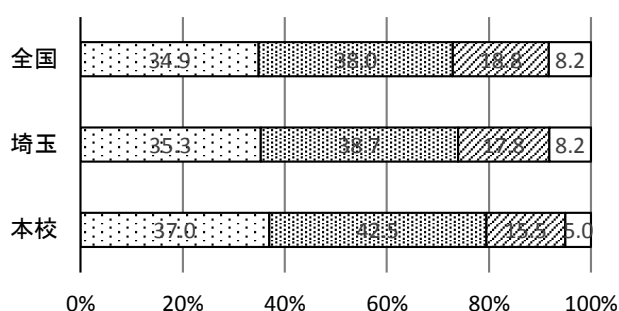
数学ができるようになりたいと思いますか



数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか



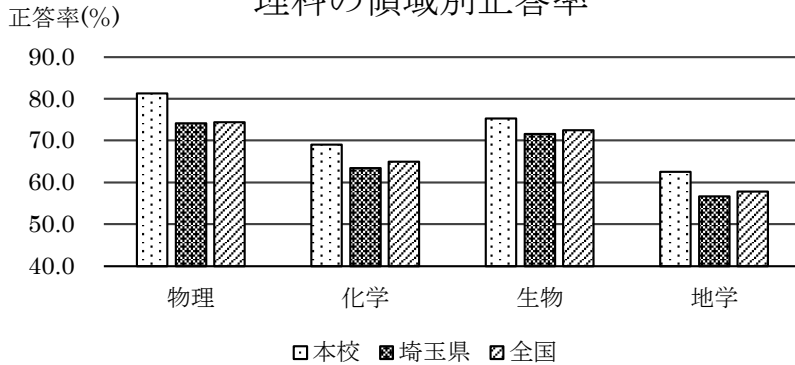
数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



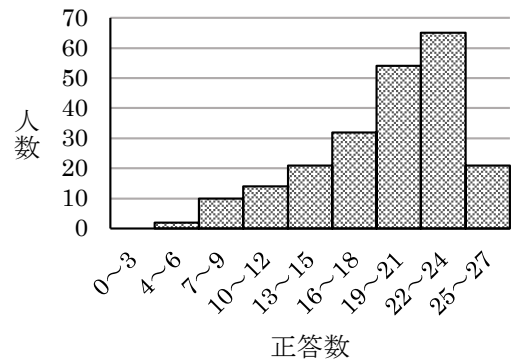
「数学の勉強は大切だと思いますか」「数学ができるようになりたいと思いますか」の質問に、肯定的に回答した生徒の割合は8割を超え、前者は全国・埼玉県平均を上回っている。これに対し、「数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか」の質問に、肯定的に回答した生徒の割合は4割に届かず、全国・埼玉県平均を下回っている。このことから、普段の授業では生活に関連する数学的活動を多く取り入れる授業実践に努めます。

理科は4領域4観点全て高い正答率

理科の領域別正答率



理科



理科で正答率が全国平均を10ポイント以上上回った問題

設問の概要	出題の趣旨	本校	全国
図書便りに紹介されていたファラデーの「ロウソクの科学」を読んで、ガスバーナーを使った燃焼を科学的に探究する場面において、実験器具の操作や化学変化と原子・分子、条件制御の知識・技能を活用することができるかどうかをみる	化学変化を表したモデルを検討して改善し、原子や分子のモデルで説明できる	63.5	49.4
自転車のライトの豆電球型のLEDが豆電球に比べて明るく点灯したことに疑問をもって科学的に探究する場面において、電流・電圧と抵抗及び電力と発生する光の明るさとの関係に関する知識・技能を活用することができるかどうかをみる	電流計は回路に直列に接続するという技能及び電流計の電気用図記号の知識を身に付けている	82.2	70.5
	実験の結果を示した表から電流の値を読み取ることができる	87.7	77.2
	オームの法則を使って、抵抗の値を求めることができる	67.1	51.9
部屋に見立てた容器に植物を入れて湿度の変化を科学的に探究する場面において、蒸散と湿度に関する知識、問題解決の知識・技能を活用することができるかどうかをみる	植物を入れた容器の中の湿度が高くなる蒸散以外の原因を指摘できる	32.4	19.4

理科で正答率が50%以下の問題

設問の概要	出題の趣旨	本校	全国
理科通信のアサリに興味をもち、アサリが出す砂の質量は何に関係しているのかを科学的に探究する学習場面において、水溶液の濃さや無脊椎動物に関する知識、問題解決の技能を活用できるかどうかをみる	濃度が異なる食塩水のうち、特定の質量パーセント濃度のものを指摘できる	36.5	46.9
コンピュータを使ったシミュレーションで台風の進路や風向を科学的に探究する場面において、日本の天気の特徴に関する知識と観測方法や記録の仕方に関する知識・技能、条件制御の知識・技能を活用することができるかどうかをみる	風向の観測方法や記録の仕方に関する知識・技能を活用できる	40.6	37.5
図書便りに紹介されていたファラデーの「ロウソクの科学」を読んで、ガスバーナーを使った燃焼を科学的に探究する場面において、実験器具の操作や化学変化と原子・分子、条件制御の知識・技能を活用することができるかどうかをみる	炎の色と金網に付くススの量を調べる実験を計画する際に、「変えない条件」を指摘できる	48.9	44.1
部屋に見立てた容器に植物を入れて湿度の変化を科学的に探究する場面において、蒸散と湿度に関する知識、問題解決の知識・技能を活用することができるかどうかをみる	植物を入れた容器の中の湿度が高くなる蒸散以外の原因を指摘できる	32.4	19.4

今後の学習指導に当たって

理科では、全ての領域観点で全国・県平均を上回っていますが、さらなる学力向上のために以下の点に留意しながら授業に取り組みます。

天気図などの気象情報を基に天気の変化を考える授業では、気象情報と観測者が捉える気象現象とを関連付け、空間と方位、時間の観点から気象現象を考えたりする学習場面を設定します。

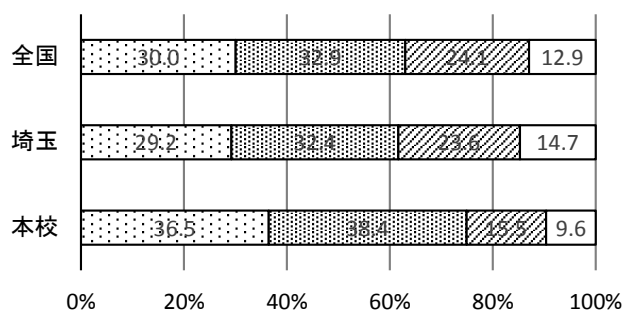
実験を行う際には、例えば、「変化すること」とその「原因として考えられる要因」を全て挙げ、それらの妥当性について話し合う時間を設けます。その際、はじめに自分の考えをもたせ、次に自分の考えを他者と共有し、生徒自身が検討して改善できるように、教師が助言や問い返しをしていきます。

また、記述式の問題に対応できるように、理科の授業だけでなく、どの授業においても自分の考えを書くことを取り入れていきます。

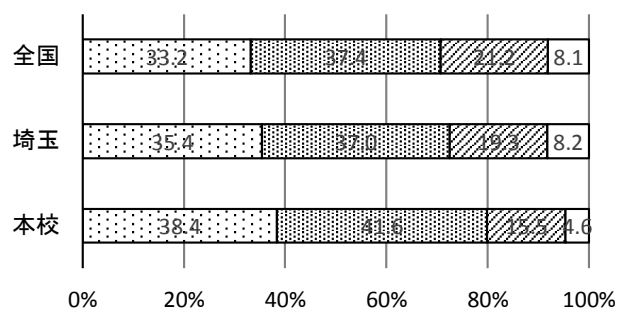
理科に関する状況（生徒の興味・関心、授業の理解度等）

…あてはまる
 …どちらかといえば当てはまる
 …どちらかといえば当てはまらない
 …当てはまらない

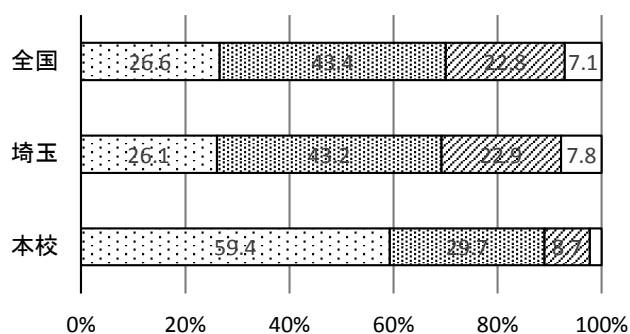
理科の勉強は好きですか



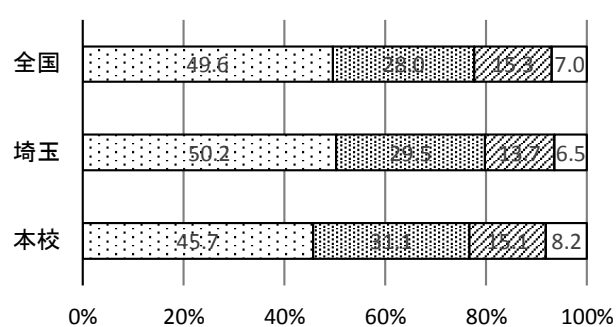
理科の勉強は大切だと思いますか



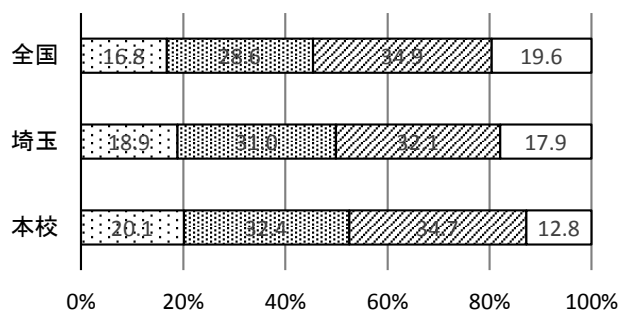
理科の授業の内容はよく分かりますか



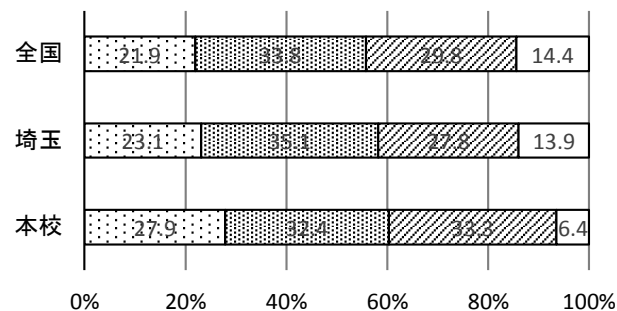
自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがありますか



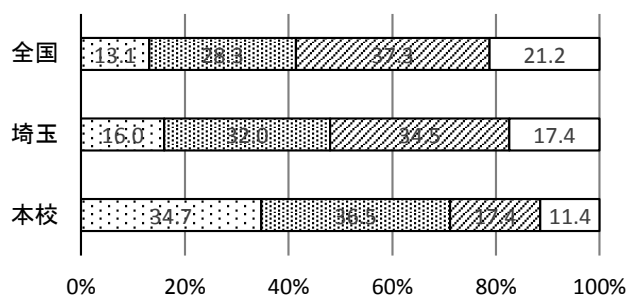
理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか



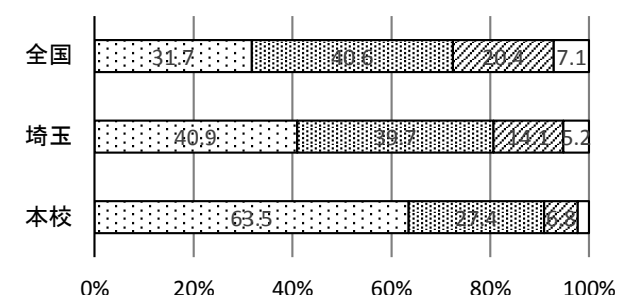
理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



理科の授業で、自分の考えや考察をまわりの人に説明したり発表したりしていますか



理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察していますか



「理科の勉強は大切だと思いますか」「理科の授業の内容がよく分かりますか」の質問に、肯定的に回答した生徒の割合は8割以上で、どちらも全国・埼玉県平均を大きく上回っています。それは、理科では「自分の考えや考察をまわりの人に説明したり発表したりしている」「観察や実験の結果をもとに考察している」授業が多く行われているからだと考えられます。今後も、観察や実験を取り入れた授業を実践していきます。

質問紙調査の結果と考察

全国学力学習状況調査では、学力調査と併せて、質問紙調査を実施しています。その結果について考察します。

☐ …あてはまる
 ☐ …どちらかといえば当てはまる
 ☐ …どちらかといえば当てはまらない
 ☐ …当てはまらない

＜主体的対話的で深い学びの視点に関すること＞

平成29年に告示された、新しい学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善が求められています。

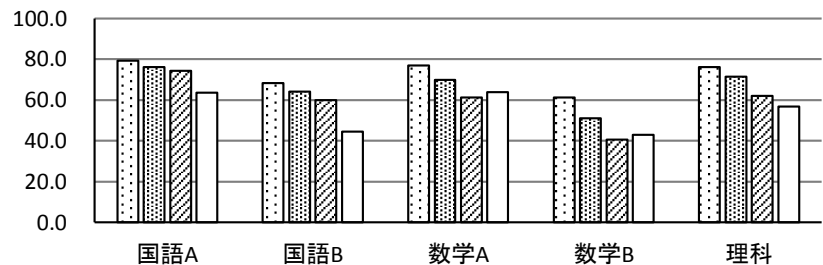
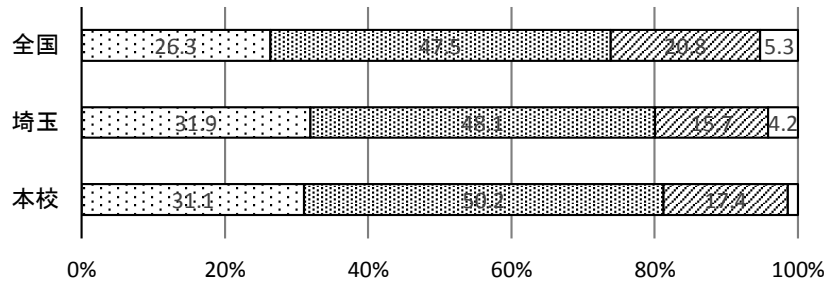
しかし、従来と全く異なる指導方法を導入しなければならないと捉える必要はなく、従前から行われていた「自ら考え、自ら課題に取り組む」ことや、「自分の考えを発表する機会では工夫して発表する」ことが大切です。

1, 2年生のときのこれらの取組状況について質問した結果が、右の表になります。

「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか」の質問に、肯定的に回答した生徒の割合は80%以上で、全国平均より高い結果になりました。

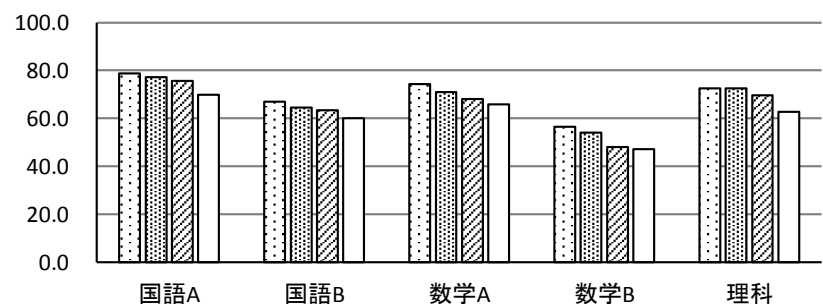
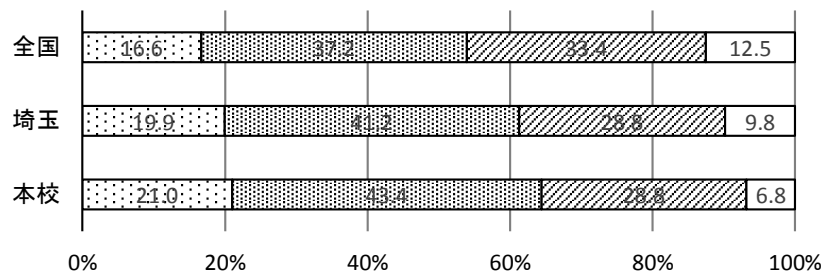
また、「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか」の質問に、肯定的に回答した生徒の割合は60%以上で、全国、県平均より高い結果になりました。

1, 2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか



☐ 思う
 ☐ どちらかといえば思う
 ☐ どちらかといえば思わない
 ☐ 思わない

1, 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか



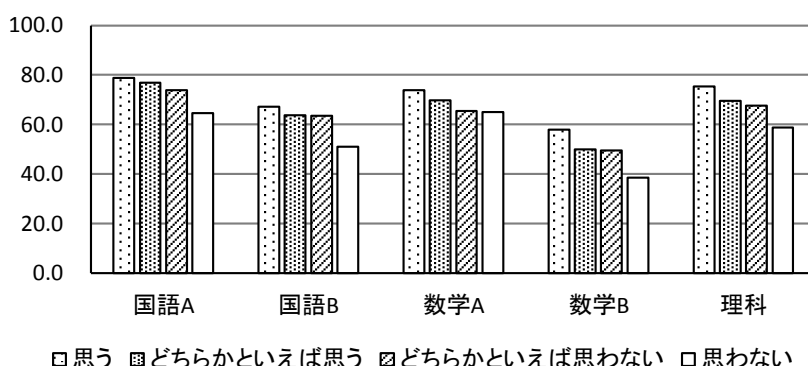
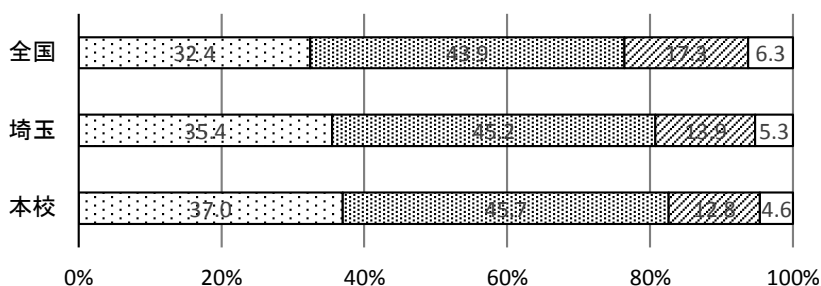
☐ 思う
 ☐ どちらかといえば思う
 ☐ どちらかといえば思わない
 ☐ 思わない

さらに、深い学びに関して「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」の質問に、肯定的に回答した生徒の割合は80%以上で、こちらも全国、県平均より高い結果になりました。

これらの結果と、選択肢毎の各教科の平均正答率の関連を見ると、肯定的な回答をした生徒の方が、正答率が高い傾向が見られました。

今後も、新学習指導要領の全面实施に向け、指導方法の工夫・改善に努めて参ります。

生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか



＜自尊感情＞

「自分には良いところがあると思いますか」の質問に、肯定的に回答した生徒の割合は、およそ70%で、全国、県平均を下回っています。

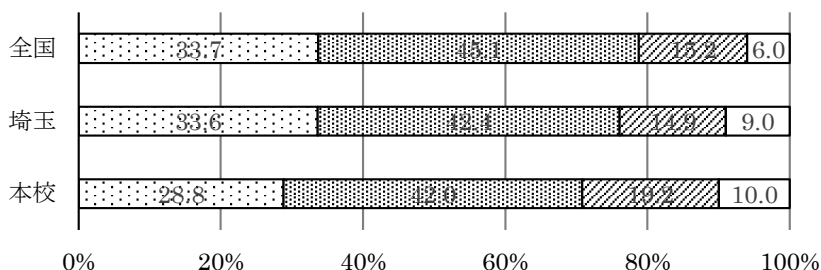
しかし、「先生は、あなたの良いところを認めてくれていると思いますか」の質問に、肯定的に回答した生徒の割合は、80%を上回り、全国平均を上回っています。

このことと、選択肢毎の各教科の平均正答率の関連を見ると、先生に認められていると感じている生徒の方が、正答率が高い傾向が見られました。

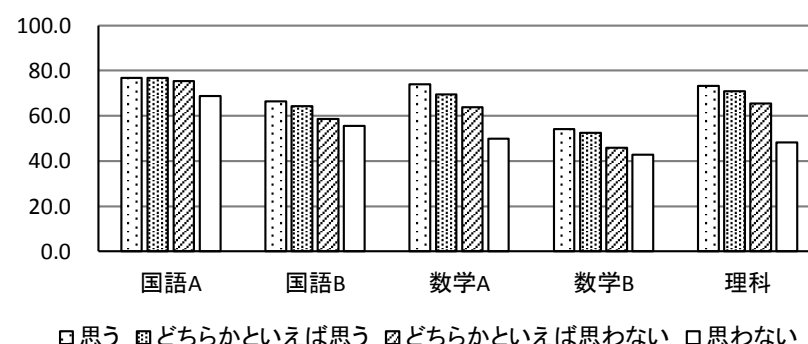
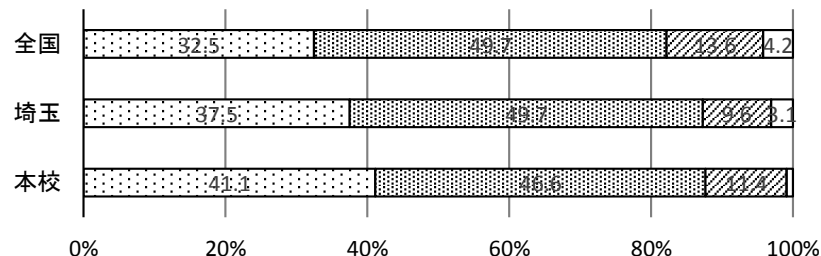
本校では、本年度の学校研究のテーマを「主体的、対話的に学ぶ生徒を育成する授業実践」に取り組んでいます。教科指導や道德教育の中で、生徒を認め褒める指導に積極的に取り組んでいきます。

ご家庭においても、お子さんを認める・褒める場面を多くつくっていただければと思います。

自分には、よいところがあると思いますか



先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか

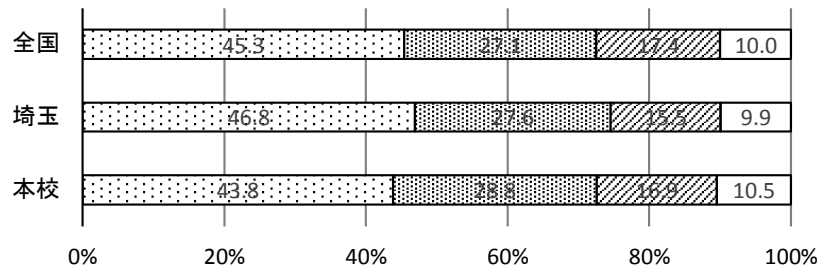


＜将来への夢や目標＞

「将来の夢や目標を持っていますか」の質問に肯定的に回答した生徒は約70%で、ほぼ全国平均と同じ結果でした。

キャリア教育をさらに充実させ、夢や目標を持った生活ができるようにしていきます。

将来の夢や目標を持っていますか



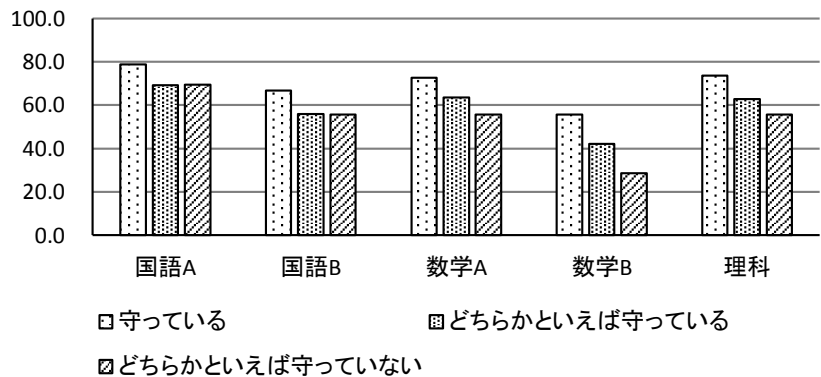
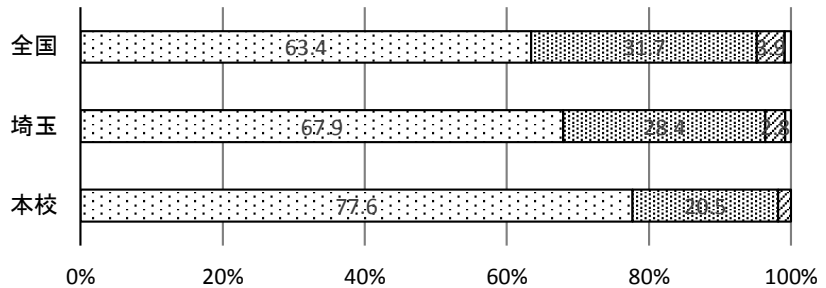
＜規範意識＞

普段の3年生の行動を見ても、学校の規則を守れない生徒はほとんどいないことが分かります。

調査結果からも、肯定的な回答の生徒は98%、守れない生徒は0%で、ほぼ全員が学校の規則をしっかりと守っていることが分かりました。

当然ですが、選択肢毎の各教科の平均正答率の関連を見ると、守っていると回答した生徒の方が、正答率が高い傾向が見られました。

学校の規則を守っていますか



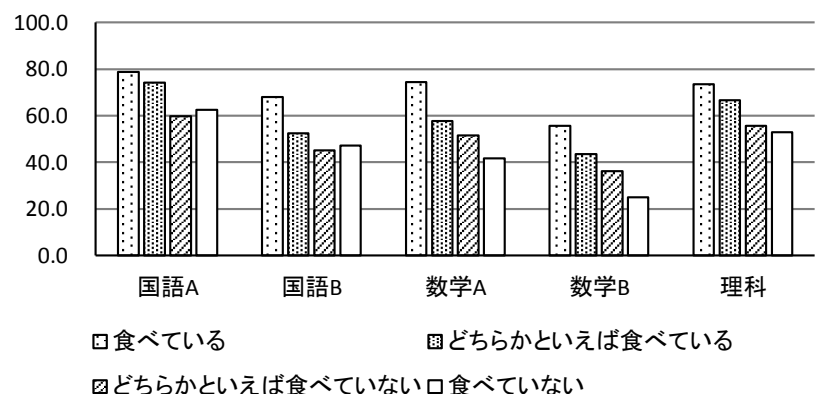
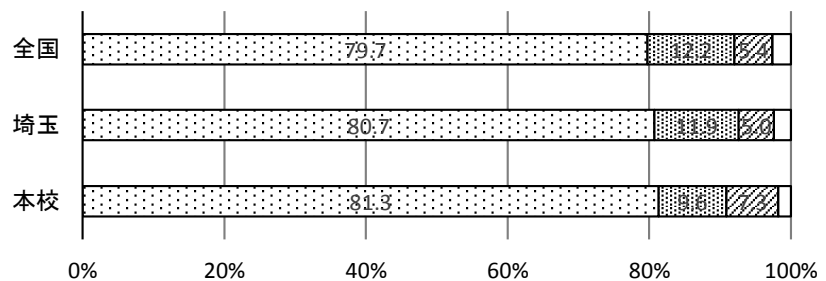
＜基本的生活習慣＞

3年生は、90%以上が「食べている」「どちらかといえば、食べている」と回答しています。また、「全く食べていない」生徒は4人だけでした。

このことと、選択肢毎の各教科の平均正答率の関連を見ると、これも当然ですが、朝食を毎日しっかりと食べている方が、正答率が高い傾向が見られました。

今後も、朝食を毎日摂取できますよう、各ご家庭でのご協力をお願いします。

朝食を毎日食べていますか



就寝時刻については、約8割の3年生が、ほぼ毎日同じくらいの時刻に寝ていることがわかり、埼玉県の実績とほぼ同じ結果になりました。

起床時刻についても同様です。同じくらいの時刻に「起きている」と「どちらかといえば起きている」を合わせると90%以上になりました。

本校には、遅刻する生徒がほとんどいないのも、この調査結果から納得できます。

これからも、子どもたちの基本的生活習慣の確立にご協力をお願いします。

＜家庭学習＞

家で計画的に勉強できている生徒が半数以上いて、ほぼ全国平均と同様の結果になりました。

これも当然ですが、選択肢毎の各教科の平均正答率の関連を見ると、計画を立てて勉強している生徒の方が、正答率が高い傾向になりました。

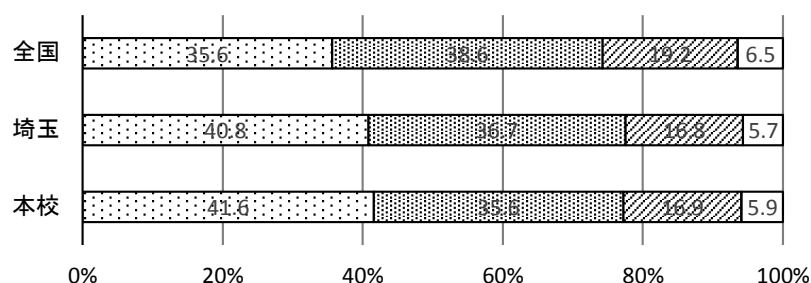
本校では、定期テストの前には家庭学習計画表を作成させ、勉強に取り組ませています。ご家庭においては普段から、計画的な学習ができますようにご協力をお願いします。

＜読書量について＞

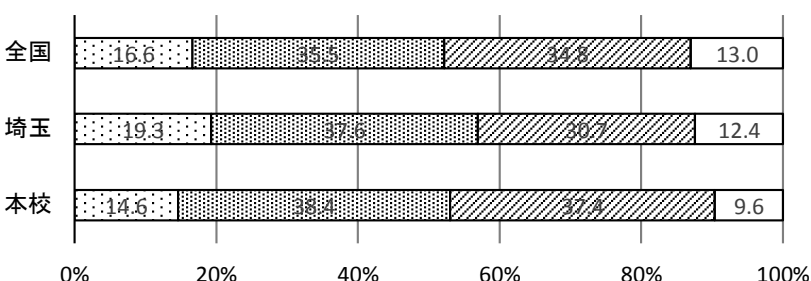
全国、県平均と比べて、「全く読んでいない」と回答した生徒が少ないことが分かります。

本校では10分間の朝読書を実施しています。これからも読書の楽しさを伝えていきたいと思います。また、読書はすべての教科の基本になるものであると考え、今後読書指導に取り組んでいきます。

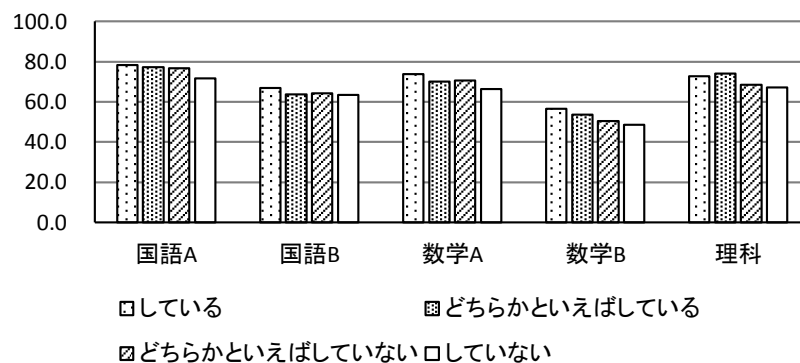
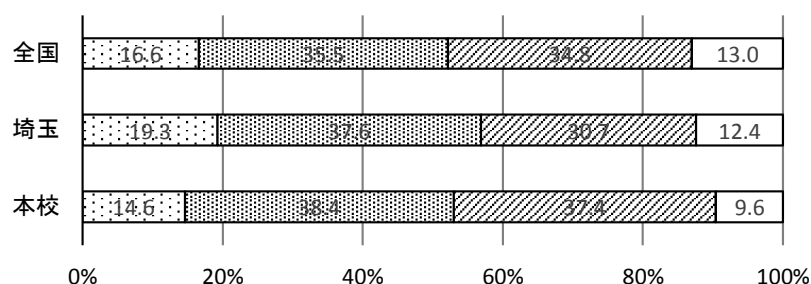
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



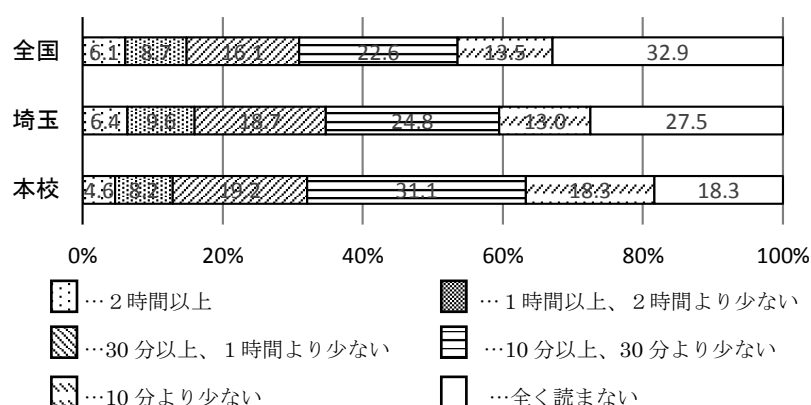
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか



学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか



＜地域や社会との関わり＞

授業や課外活動での地域との関わりについては、6割以上の生徒が、関わる機会があったと回答しています。しかし、全国、県平均と比べると低い結果となりました。

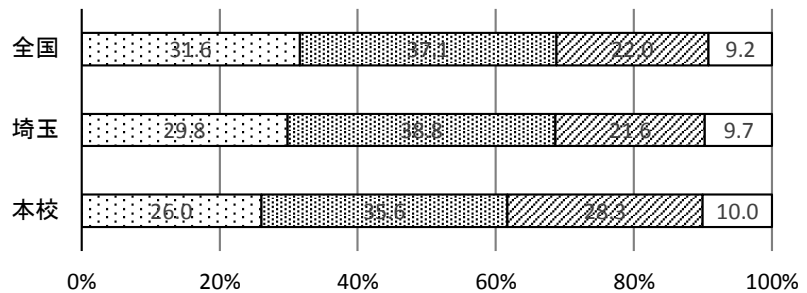
授業の中で、地域学習をさらに積極的に取り入れていきたいと思っています。

地域の行事への参加については、全国や県平均よりも低い結果となりました。

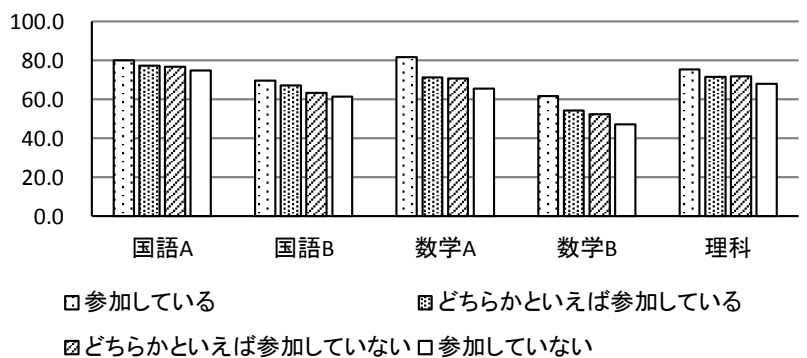
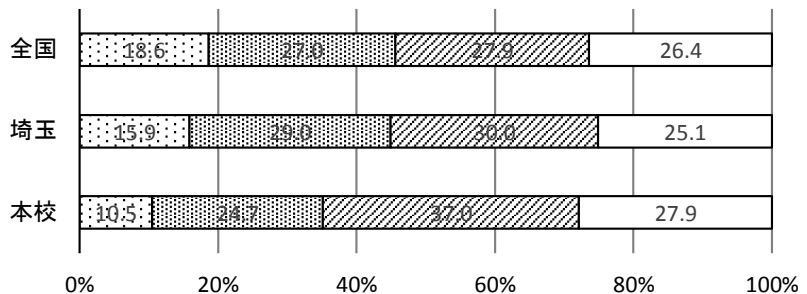
このことと、選択肢毎の各教科の平均正答率の関連を見ると、積極的に地域行事に参加している生徒の方が、正答率が高い傾向になることが分かりました。

これからも、地域行事への参加を呼びかけていきますので、ご家庭や地域でもご協力をお願いします。

1, 2年生までに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか



今住んでいる地域の行事に参加していますか



＜新聞を読むことと学力との関係＞

全国的に新聞の読者数は少なくなっていますが、本校3年生で「読んでいる」「どちらかといえば読んでいる」と回答した生徒は14%（31人）です。

新聞を購読している家庭が少なくなっていることからこのような結果になっていると思われます。

しかし、選択肢毎の各教科の平均正答率の関連を見ると、「読んでいる」「どちらかといえば読んでいる」と回答した生徒の方が、正答率が高い傾向になることが分かりました。

学校の図書室に新聞を置くなど、学校としても工夫していきたいと考えています。

新聞を読んでいますか

